

議会だより

No. 136

12月定例会

■発行／八千代町議会

■編集／議会だより編集委員会

議長に生井和巳氏、副議長に上野政男氏が就任

平成21年第4回定例会は、12月9日から14日までの6日間の日程で開催されました。

この定例会では、議長、副議長選挙や常任委員会の所属変更などが行われたほか、執行部から平成21年度補正予算など7議案が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。

一般質問は、12月14日に行われ、3人の議員が登壇し、町の方針をたどりました。



副議長 ^{うえの まさお} 上野 政男



議長 ^{なま い かずみ} 生井 和巳

議長就任の「あいさつ」

12月議会におきまして、議員の皆様にご推挙いただき、第21代八千代町議会議長に就任させていただきました。身に余る光栄とともに、その職責の重さを痛感しており、私も全身全霊を込めてがんばっていきたくと思っています。現在、地方自治体においても、国の政権交代などの影響により、事業の廃止や大幅な見直しなど、国からの新たな財政的支援は期待できず、当町においても自主財源の不足

や、急激に高齢化が進むなどまだまだ厳しい状況が続いています。

私たち議会としても、町の議決機関としてのチェック機能を一段と強化するとともに、活発に議論しお互いに切磋琢磨しながら、町執行部と協力して町政を進めていきたいと考えています。

今後とも町民の皆様が、安心して暮らせる素晴らしい町になりますよう議員一同、力を合わせてがんばっていきま

副議長就任の「あいさつ」

12月議会におきまして、議員の皆様にご推挙いただき、第21代八千代町議会副議長に就任させていただきました。職責の重さを痛感しておりますが、議長の補佐役としてがんばっていきたくと思っています。

また、この度、議会だより編集委員長も担当することになりました。

これからも町民の皆様、議会だよりやホームページ、さらには庁舎内テレビ中継等を通して、より多くの議会情

報をお知らせしていきたいと考えています。

特に、町議会を身近に感じていただくために、一人でも多くの町民の方に議会傍聴に来ていただけるよう、議長とともに活力ある議会にしていきたいと考えております。

今後とも町民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願



可決した議案内容

条例

◇八千代町印紙等購入基金条例
平成22年1月4日から旅券事務が町に権限移譲されることに伴い、定額運用基金（100万円）の条例を制定するものです。



役場町民課でパスポートの申請・受領が可能に

※申請に必要な収入印紙及び県収入証紙は町民課隣の会計室にて販売しています。

人事

◇八千代町公平委員会委員の選任同意
委員の任期満了に伴い、新委員として宮本幸子さん（天王木番田）を選任することに同意しました。

補正予算

会計区分	12月補正額	補正後総額
一般会計	8千729万7千円	78億5千711万9千円
介護保険	1億393万2千円	12億8千393万5千円
農業集落排水	19万7千円	7億2千407万3千円
区画整理	357万8千円	1億2千47万8千円

その他

◇茨城西南地方広域市町村圏事務組合規約の一部変更
総務事務次官通知により、20年度末をもって「広域行政圏計画策定要綱」が廃止されたことにより、規約の一部を変更するものです。



第2回臨時会

平成21年第2回臨時会は、11月24日に開催されました。この臨時会では、条例の一部改正など2議案が執行部より提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

可決した議案内容

条例

◇八千代町職員の給与に関する条例等の一部改正
人事院勧告に基づき条例等の一部改正を行うもので、給料を若年層は除き平均0.2%引き下げ、期末勤勉手当の支給月数を年間0.35月引き下げなどを行うものです。

◇八千代町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例等の一部改正
一般職の給与改定に伴い、期末手当の支給月数を年間0.25月引き下げを行うものです。



一般質問

女性特有のがん検診の推進について

中山 勝三 議員

疾病のがんは、何よりも早期発見、治療することで高い確率で完治することができま

す。

今年度から、子宮頸がんは、20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の方が、乳がんは、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方が無料で受診できるようになり、

無料のクーポン券と検診手帳を個別に送付するよう全国9割の自治体で実施している。

そこで、女性の皆さんが安心して気軽に受診し、そして受診率の向上を図ることについて、執行部の見解をお伺いいたします。

福祉保健課長

平成21年6月30日基準日で、乳がん検診対象者は816人、子宮がん検診対象者は700人に、検診手帳と無料クーポン券を郵送し、乳がん検診希望者210人、子宮頸がん検診希望者142人に集団検診日程の案内通知をしています。

町長

町では福祉保健課を通じて、受診等の指導をしていますが、より多くの方に検診を受けていただければと思うております。

その他の質問

○新型インフルエンザ対策について

新型インフルエンザ対策について

大久保弘子 議員

懸念されていた新型インフルエンザの集団感染が日を追うごとに拡大し、学級閉鎖が相次いでおります。

そこで、ワクチンの確保は十分か。ワクチン接種の公費負担の対象者を妊婦さんや乳幼児、持病がある方にもぜひとも拡大をお願いしたい。

また、ぜんそく等の持病がある児童・生徒の把握はしているのか。感染予防策として小中学校に加湿器が設置されているのかお聞きいたします。

福祉保健課長

現在、小・中学生の場合では、接種希望数のワクチンは

町内4医療機関合計で足りる数が確認できています。

また、現在のところ町独自による公費負担対象者の拡大について予定はなく、ワクチン接種については、保険適用外の実費負担となります。

学校教育課長

ぜんそく疾患のある児童・生徒数については、約60名いると学校から報告を受けており、以前より各学校とも教室に加湿器を設置し、空気の乾燥による感染拡大を予防する措置を講じております。

その他の質問

○県西広域水道用水供給料金の見直しについて
○国民健康保険関連

新型インフルエンザについて

大久保敏夫 議員

新型インフルエンザの問題については、学校に関係することは議論されているが、町では町内で発生した大人の発症件数等は把握しているのか。また、感染が確認された子供の場合、ワクチン接種は不

要なのか。あるいは一度発症してもワクチン接種は必要なのか。

学校では、新型インフルエンザの影響でこれまで40クラス級の学級閉鎖があったようだが、現在では、どのような基準で学級閉鎖の判断をし、閉鎖日数は何日になっているのかお聞きしたい。

福祉保健課長

大人の方の発生状況については、集団発生ではないと各医療機関から報告義務がないため、町では把握できていないのが現状です。

また、一度感染した方には、免疫ができますのでワクチンの接種は必要ないかと思いますが、仮に接種をしても弊害はないと言われております。

学校教育課長

学級閉鎖の基準については、当初、欠席者が7日以内に2名以上でしたが、9月に15%、12月からは、例年どおり20%以上ということで変更しております。

また、学級閉鎖の期間については、発症が発覚後翌日から7日間ということになって

常任委員会等の変更（※所属変更あり）

総務常任委員会



委員長 矢中 昭二



副委員長※ 小島 由久

教育民生常任委員会



委員長 湯本 直



副委員長 宮本 直志

（委員）
大久保 弘子
中山 勝三
※生井 和巳

産業建設常任委員会



委員長 大久保 武

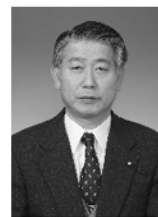


副委員長※ 相沢 政信

議会運営委員会（※新委員あり）



委員長 水垣 正弘



副委員長 中山 勝三

（委員）
※小島 由久
※稲葉 常美
宮本 直志
大久保 敏夫

議会だより編集委員会（※新委員あり）



委員長 上野 政男

茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会（※新議員あり）



議員 湯本 直



議員※ 宮本 直志



新たな体制で活発な議論を

研修視察報告



議会議員全体研修視察

去る9月29日から10月1日までの3日間、議会議員研修視察として議員及び執行部から町長の参加をいただき、鹿児島県日置市と宮崎県宮崎市で研修をしてまいりました。はじめに訪問した鹿児島県日置市役所では、主に指定管理者制度について研修をしてまいりました。

日置市は、指定管理者制度の導入にも積極的で、平成18年9月から導入を開始し、現在では33施設に公募方式等を取り入れながら導入し運営しています。

制度の導入効果については、管理経費が大幅に削減できたことや民間のノウハウをいかしてサービスを向上できると、たくさんの効果がありました。

当町においても憩遊館やクラインガルテン等で指定管理者制度を導入していますが、今後は、制度の運用状況をより厳しく確認していくとともに、他の公共施設についても管理運営の在り方を議論する

うえで参考にしていきたいと思えます。

次に訪問した宮崎県みやざき物産館では、宮崎県内の農産物や工芸品など種類が豊富で、東国原知事の積極的なPR効果もあり、大変な集客及び経済効果が出ていました。議員各位には、今後のまちづくりを議論するうえで、今回の研修成果を十分活かされますようご期待申し上げ報告いたします。



鹿児島県日置市役所にて

議会運営委員会・議会だより編集委員会合同研修視察

(議会運営委員会)

当委員会は、去る11月10日から11日に、議会だより編集委員会と合同で研修視察を実施してまいりました。研修の内容ですが、大洗町

役場にて研修を行い、大洗町議会議長をはじめ議員の方々から「議会の運営について」の説明を受け、さらに意見交換を行うなど研修をしてまいりました。

大洗町の議員定数は15名で、平成19年に就任した議長が中心になりました。各議員がお互いに切磋琢磨しながら積極的に議会改革に取り組んでいます。

特に、日曜議会の開催をはじめ、一般質問の一问一答方式の採用、議会傍聴のPR、議会報告会の開催をするなど県内で最も改革が進んでいる議会です。

こうした活動によりまして、議会傍聴者の増加や新聞等でも頻繁に取り上げられ、議会に対する住民の関心が高まっています。住民に開かれた「理想の議会」となっています。

今回の研修を活かし、今後の当町の議会運営や議会の活性化を検討するうえで、参考にしていきたいと考えております。

(議会だより編集委員会)

当委員会は「議会だよりの編集について」説明を受け、さらに意見交換を行うなど研修をしてまいりました。

大洗町の議会だよりについては、広報紙とは別に発行・配布しておりまして、原稿作成は、大部分を議員自らが行っています。

数年前から入札方式を取り入れ、以前より単価を安く抑えながらも全ページカラーに変更するなど、以前より経費をかけずに充実させています。

編集方針については、「町民の皆様に信頼され、そして開かれた議会」を目指し、議会の公開性や透明性の確保を重視した編集をしております。

特に、議員の議案の採決賛否や本会議等の出欠状況の公表をしているほか、一般質問の傍聴案内状を質問する議員が町民に配布したり、議員が手分けして町内の公共施設やコンビニなど60カ所に傍聴の



大洗町役場にて

PRポスターを掲示するなど様々を取り組みをしています。

今後は、当町の議会だよりについても、公開性をより高めていくとともに、様々な方法で積極的に議会傍聴のPRをするなど、議会全体の活性化につながる紙面づくりや広報活動を行っていききたいと考えています。

全国町村議会議長会特別表彰

11月11日に、全国町村議会議長会創立60周年記念式典において、永年にわたり地域社会の発展及び住民福祉の向上に寄与された功労者が表彰され、当町議会議員の湯本直議員(当選11回)が議会議員30年以上在職者として特別表彰されました。

